

青森市総合計画  
前期基本計画

フォローアップ表

第1分科会 <仕事をつくる>



新たな総合計画の行政分野から見た現総合計画との対比表

新たな青森市総合計画		現青森市総合計画									
分科会	行政分野	章	節	項（施策名）							
第1へ仕事を つくる	産業・雇用	1	しごと創り	1	産業の振興・雇用対策の推進	1 地域ベンチャー支援の推進	2 地域資源を活かした産業の育成	3 個性と魅力ある商店街の形成	4 雇用対策の推進		
	観光				3	観光の振興・誘客の推進	1 広域観光の推進	2 観光資源の充実	3 受入態勢の強化		
	農林水産						2	農林水産業の振興	1 あおり商品の販売力の強化	2 農林水産業の経営体質の強化	3 農林水産業の生産・流通基盤の維持・強化
	その他								3	まち創り	1 地域内連携・広域連携の推進
第2へ人を まもり・そだてる	子育て支援	2	ひと創り	1	子ども・子育て支援の充実	1 切れ目のない子育て支援	2 子ども支援の充実				
	スポーツ				3	スポーツの推進	1 教育環境の整備	2 教育活動の充実			3 教育支援の充実
							健康づくり	4	やさしい街	1	保健・医療の充実
		障がい者福祉	3	障がい者福祉の充実							
	高齢者福祉				2	高齢者福祉の充実					
		男女共同参画	3	まち創り			3	ユニバーサル社会の形成	1 地域包括ケア・生きがいづくりの推進	2 適正な介護サービスの提供	
	防災・雪対策 (地域防災・克雪体制)	5	つよい街	1	防災体制・雪対策の充実	1 市民防災の促進	3 克雪体制の整備				
	その他	2	ひと創り	2	教育の充実	4 社会教育の推進					
						4	文化芸術の推進	1 文化芸術活動の推進	2 文化芸術資源の継承		
		3	まち創り	2	安全・安心な市民生活の確保			1 交通安全対策の推進	2 地域防犯対策の推進	3 安全・安心な消費生活の確保	
						4	やさしい街	4	暮らしを支える福祉の充実	2 互いを尊重し支え合う社会の形成	3 平和意識の醸成
	3	ユニバーサル社会の形成	2 1 地域福祉の充実	2 生活困窮者の自立支援							
	第3へまちを デザインする	文化	2	ひと創り	4	文化芸術の推進	3 文化財の保存・活用				
		市民協働	3	まち創り	1	地域内連携・広域連携の推進	1 地域の個性を活かしたまちづくり				
まちづくり		5	つよい街	2	土地利用・都市景観の形成	1 効率的で計画的な土地利用の推進	2 自然環境と調和した都市景観の形成	3 安全で快適な住まいの確保			
						3	交通インフラの充実	1 広域交通の充実	2 域内交通の充実	3 快適な道路交通環境の確保	
								1	防災体制・雪対策の充実	2 災害防止対策の推進	3 克雪体制の整備
6		かがやく街	1	豊かな自然環境の保全	1 陸奥湾資源の保全					2 豊かな森林の保護	3 再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進
					2	快適な生活環境の確保	1 適正な污水排除・処理の確保	2 公害対策の推進	3 衛生的な生活環境の確保		
							3	廃棄物対策の推進	1 ごみの減量化・リサイクルの強化	2 適正な廃棄物処理の確保	



## 【行政分野】

### 産業・雇用

#### 【前期基本計画における施策数】 4

- 1-1-1 地域ベンチャー支援の推進
- 1-1-2 地域資源を活かした産業の育成
- 1-1-3 個性と魅力ある商店街の形成
- 1-1-4 雇用対策の推進

フォローアップ表 「3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況」の達成度評価の説明

- |            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| A： 順調      | … 実績値がその年度の目標値を 100%以上達成          |
| B： 概ね順調    | … 実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上 100%未満）達成 |
| C： やや遅れている | … 実績値がその年度の目標値の 50%～75%未満         |
| D： 遅れている   | … 実績値がその年度の目標値の 50%未満             |

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 -
政策	第1節	産業の振興・雇用対策の推進	
施策	第1項	地域ベンチャー支援の推進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

産学金官の連携により、若者等の起業・創業や地元企業の新たな領域での事業展開、第二創業などへの支援の充実を図り、新ビジネスへの挑戦を促進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
創業件数◎	AOMORI STARTUP CENTERの支援による市内での年間創業件数	+	H30	20	件	目標値	22	24	26	28	30
						実績値	27	20	19	10	99
分析	創業件数は99件となり、目標値を大幅に上回りました。			達成度評価		A					

創業件数

実績値 目標値

指標②	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は新たなビジネスに挑戦する環境が整っている街だと思いますか。

回答	割合
全くそう思わない	12.8%
あまりそう思わない	45.6%
どちらかといえばそう思う	11.1%
どちらともいえない	26.0%
大いにそう思う	2.4%
無回答	2.1%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	1.9	2.0	1.8	1.5	2.4
どちらかといえばそう思う	10.7	11.9	12.5	10.3	11.1
どちらともいえない	25.9	28.2	27.9	27.1	26.0
あまりそう思わない	48.5	44.9	45.7	48.5	45.6
全くそう思わない	12.5	11.6	10.8	11.1	12.8
無回答	0.5	1.4	1.4	1.4	2.1

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
青森市新事業チャレンジ支援補助金事業	137,989	市長記者会見や広報紙等により事業の周知に努めた結果、補助金交付件数は目標値175件に対して187件となり、目標値を上回りました。	交付件数 単位 件	-	-	-	-	187
地域企業ビジネス支援拠点運営事業（連携）	39,897	令和3年10月に「AOMORI STARTUP CENTER」の体制を強化し、常駐のコーディネーターを2人配置し、起業・創業、経営改善、新事業展開など一貫した事業者支援に取り組んだ結果、創業件数は目標値28件に対し99件となり、目標値を大きく上回りました。	創業件数 単位 件	27	20	19	10	99
地域貢献人材マッチング支援事業	4,199	セミナーの開催や事業者への個別訪問など事業周知に取り組んだ結果、地域貢献人材のマッチング件数は目標値10件に対して15件となり、目標値を上回りました。	地域貢献人材のマッチング件数 単位 件	-	-	-	2	15
地域ベンチャー支援事業	11,023	「ジャパンスターアップセレクション（主催：スタートアップ都市推進協議会）」に参加した企業の商談件数は、目標値9件に対して7件となり、目標値を下回りました。	スタートアップセレクションに参加した企業の取引・提携等の商談件数 単位 件	17	4	1	5	7
学生ビジネスアイデアコンテスト開催事業（連携）	643	市内の大学生等の起業マインド、チャレンジマインドの醸成を図るため、学生チームによる独自技術やこだわり等をもとにしたビジネスアイデアコンテストを実施した結果、コンテストの参加者数は目標値100人に対して120人となり、目標値を上回りました。	学生ビジネスアイデアコンテストの参加者数 単位 人	150	180	0	110	120
あおもりフィールドスタディ支援事業（連携）	2,401	地域の社会課題解決や将来の起業につながる活動を行う学生団体等が、補助金を活用して実施した事業数は目標値の10件に対して7件となり、目標値を下回りました。	学生団体等が実施した事業数 単位 件	7	6	0	5	7

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和3年10月に「AOMORI STARTUP CENTER」の体制を強化し、常駐のコーディネーターを2人配置し、起業・創業、経営改善、新事業展開など一貫した事業者支援に取り組んだ結果、創業件数は99件と目標値を大きく上回り、産学金官の連携による新ビジネスへの挑戦の促進が図られています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
新型コロナウイルス感染症を契機としたデジタル化などの社会経済環境の変化を踏まえ、起業・創業、経営改善、新事業展開など一貫した事業者支援により、地域ベンチャーの推進に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済環境の変化に適応しつつ、産学金官の連携により、若者等の起業・創業や地元企業の新たな領域での事業展開、第二創業などへの支援の充実を図るとともに、地域企業のDXを推進し、新ビジネスへの挑戦を促進していきます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 -
政策	第1節	産業の振興・雇用対策の推進	
施策	第2項	地域資源を活かした産業の育成	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

本市産業の自立的な発展に向け、地域資源を活用した産業の育成を推進します。また、地元企業による生産性向上の取組などにより、経営基盤の強化を促進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
設備投資件数	市内事業者が、設備投資を対象とする市の支援制度を活用した件数	+	H29	201	件	目標値	201	201	201	201	201
						実績値	209	207	125	171	234
分析	設備投資件数は234件となり、目標値を上回りました。				達成度評価	A					

設備投資件数

500  
0

H30 R1 R2 R3 R4 R5

■ 実績値 ● 目標値

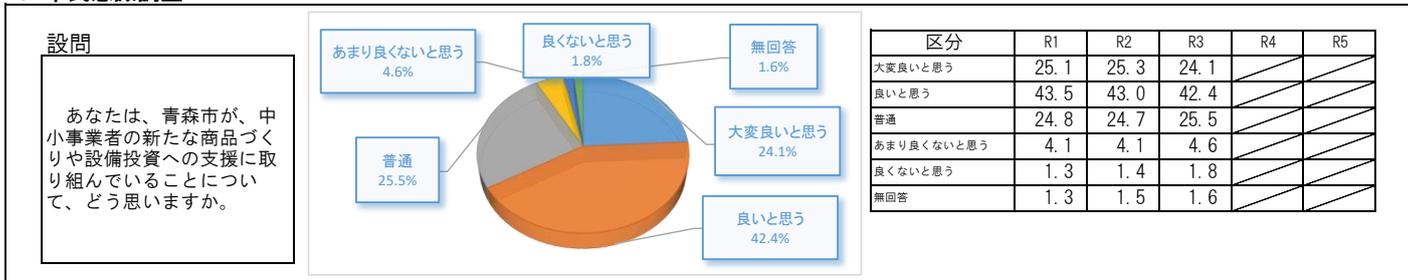
指標②	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析					達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析					達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析					達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析					達成度評価						

4 市民意識調査



**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
物産振興事業（連携）	4,404	県外百貨店等において、物産展・イベントを開催しましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展・イベント開催回数（公益事業）は目標値17回に対して12回となり、目標値を下回りました。	青森市物産協会による物産展・イベント開催回数（公益事業） 単位 回	17	16	4	7	12
首都圏ビジネス交流拠点運営事業（連携）	48,572	52週プロジェクトや外販イベントを可能な限り実施した結果、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向もあり、過去最高の売上を記録したものの、依然として同感染症の影響により、売上額は目標値40,987千円に対して35,842千円となり、目標値を下回りました。	売上額 単位 千円	27,444	28,731	20,030	18,480	35,842
地場産業振興資金融資事業	373,628	設備投資を行う市内中小企業者に対する利率の低減と信用保証料の補給等を通じて地元企業の経営基盤の強化に取り組んだ結果、融資額は目標値810,000千円に対して992,449千円となり、目標値を上回りました。	融資額 単位 千円	686,700	807,470	500,800	651,078	992,449

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

外部専門家による相談対応や設備に係る融資の利率低減及び信用保証料の補給等に取り組んだことにより、設備投資件数が目標値を上回り、地域資源を活かした産業の育成に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
 施策評価の結果及びコロナ禍後の社会経済環境の変化などを踏まえ、地域資源を活かした産業の育成に引き続き取り組む必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
 新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済環境の変化などを踏まえ、中小企業者への設備投資に係る融資支援や市産品の物産振興等により、地域資源を活かした産業の育成に引き続き取り組みます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 -
政策	第1節	産業の振興・雇用対策の推進	
施策	第3項	個性と魅力ある商店街の形成	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

商業・サービス・コミュニティ機能等の維持・向上に向け、地域特性に応じた個性と魅力ある商店街づくりを促進し、商店街の活性化を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
商店街での新規開業件数◎	市の支援制度を活用して、商店街で新規に開業した件数（2018年度からの累計）	+	H30 3 件	目標値	8	13	18	23	28	
				実績値	3	9	13	17	29	

分析	商店街での新規開業件数は29件となり、目標値を上回りました。	達成度評価	A							
----	--------------------------------	-------	---	--	--	--	--	--	--	--

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

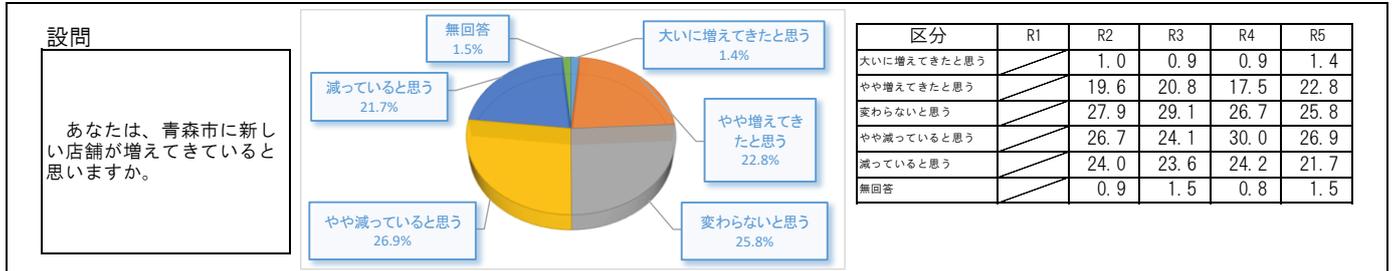
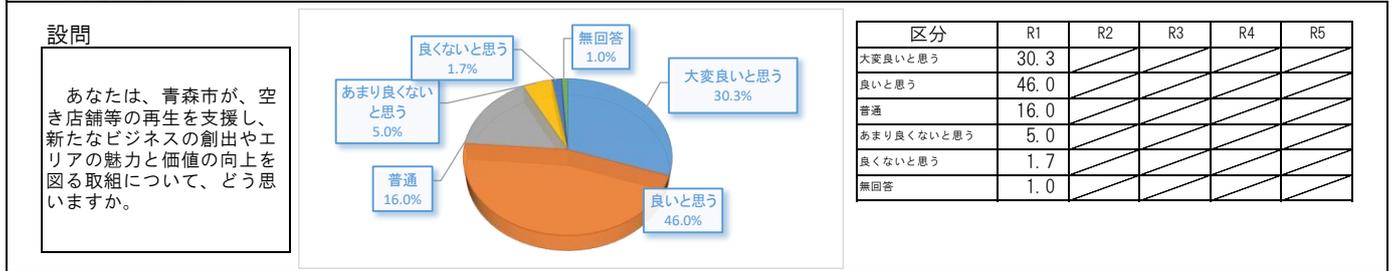
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
空き店舗リノベーション支援事業	6,441	商店街の空き店舗で新規に開業した者に対する店舗改装費の支援を通じて商店街の商業機能の充実やにぎわいの創出等に取り組んだ結果、空き店舗補助の支援件数は目標値3件に対して9件となり、目標値を上回りました。	空き店舗補助の支援件数 単位：件	3	4	4	2	9
			単位：件					
			単位：件					
			単位：件					
			単位：件					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

「空き店舗での新規開業者への改装費支援」等を通じて商店街の魅力向上に取り組んだ結果、空き店舗補助の支援件数は9件、既存ストックのまちづくり活件数（事業化件数）は累計7件、両事業の実績を合算した施策指標の市の制度を活用して商店街で新規に開業した件数（2018年度からの累計）は29件となり、令和4年度の目標値である23件を上回っていることから、施策の方向性である個性と魅力ある商店街の形成に寄与しています。

また市民意識調査では、青森市に新しい店舗が増えてきているかについて「大いに増えてきたと思う」「やや増えてきたと思う」と回答した割合が令和2年度から令和5年度の4年平均で21%程度となっていることから、市民生活において新規店舗の進出に対する認知が、一定程度進んでいます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
 施策評価の結果及び新型コロナウイルス感染症による生活様式や働き方の変化などを踏まえ、青森商店街連盟、青森商工会議所やAOMORI STARTUP CENTER等と連携し、商店街における新たな担い手の育成や商店街の自主的な取組の促進により個性と魅力ある商店街の形成に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
 商業・サービス・コミュニティ機能等の維持・向上に向け、地域特性に応じた個性と魅力ある商店街づくりを促進し、商店街の活性化を図ります。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 -
政策	第1節	産業の振興・雇用対策の推進	
施策	第4項	雇用対策の推進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

労働力の確保に向け、若者等の地元就職を促進するとともに、仕事と家庭の両立など、誰もが安心して働くことのできる雇用環境づくりを促進します。また、地域ニーズに対応した多様な企業の立地等を促進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
若者等の地元就職に関する相談件数	市のUターン就活サポートデスク等における就職相談件数	+	H29 420 件	目標値		484	498	512	526	540																					
				実績値	442	313	359	255	244																						
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、若者等の地元就職に関する相談件数は244件となり、目標値を下回りました。			達成度評価	D	<p>若者等の地元就職に関する相談件数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>442</td><td>484</td></tr> <tr><td>R1</td><td>313</td><td>498</td></tr> <tr><td>R2</td><td>359</td><td>512</td></tr> <tr><td>R3</td><td>255</td><td>526</td></tr> <tr><td>R4</td><td>244</td><td>540</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td></td></tr> </table>					年度	実績値	目標値	H30	442	484	R1	313	498	R2	359	512	R3	255	526	R4	244	540	R5		
年度	実績値	目標値																													
H30	442	484																													
R1	313	498																													
R2	359	512																													
R3	255	526																													
R4	244	540																													
R5																															

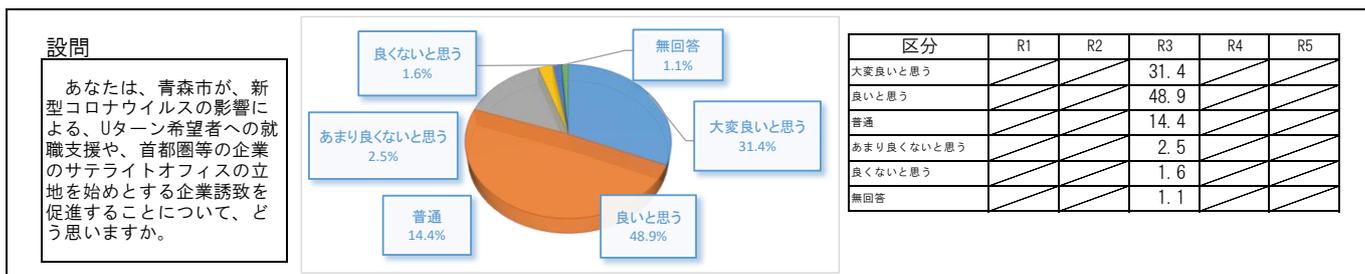
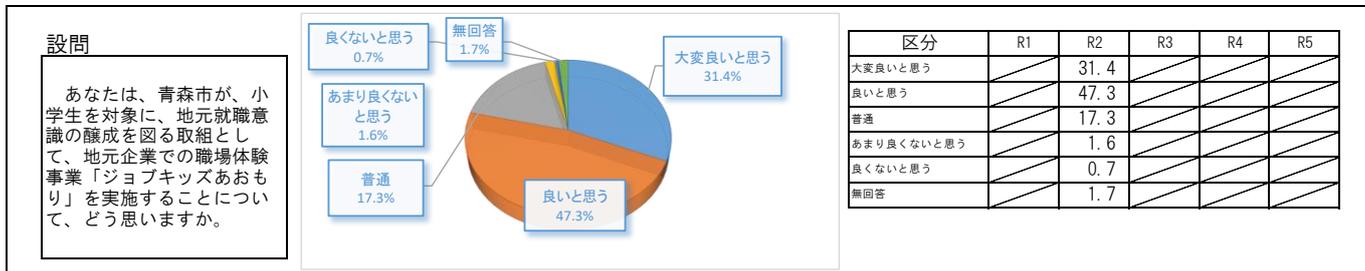
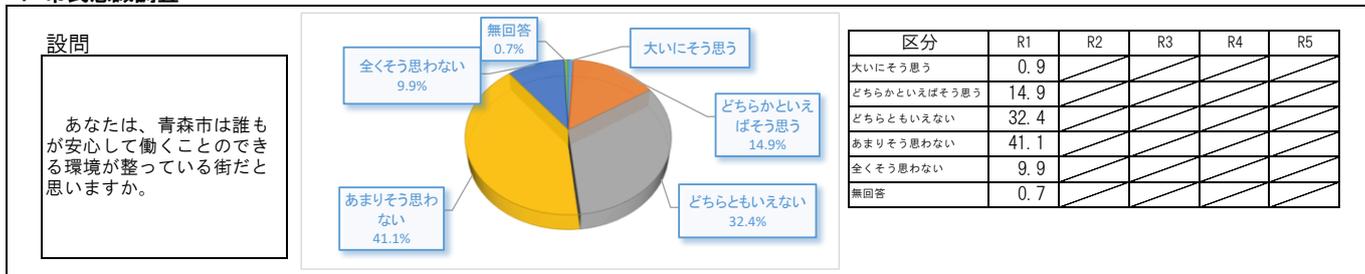
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
立地企業数	市と立地協定を締結して、本市へ新たに開設された事業所数（平成29年度からの累計）	+	H29 4 件	目標値		10	13	16	19	22																					
				実績値	7	10	13	16	20																						
分析	立地企業数（平成29年度からの累計）は20件となり、目標値を上回りました。			達成度評価	A	<p>立地企業数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>7</td><td>10</td></tr> <tr><td>R1</td><td>10</td><td>13</td></tr> <tr><td>R2</td><td>13</td><td>16</td></tr> <tr><td>R3</td><td>16</td><td>19</td></tr> <tr><td>R4</td><td>20</td><td>22</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td></td></tr> </table>					年度	実績値	目標値	H30	7	10	R1	10	13	R2	13	16	R3	16	19	R4	20	22	R5		
年度	実績値	目標値																													
H30	7	10																													
R1	10	13																													
R2	13	16																													
R3	16	19																													
R4	20	22																													
R5																															

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
あおもり新しい働き方支援事業（連携）	9,912	地方への設備投資等を検討している企業に対する企業訪問や展示会への参加等を通じて企業立地の促進活動に取り組んだ結果、圏域への立地企業数は目標値を上回る4件となっています。	圏域への立地企業数 単位：件	3	3	3	6	10
地元企業の魅力発信事業	300	地元企業の情報発信等を通して地元就職意識の醸成に取り組んだ結果、青森市が継続的に働ける場が確保されている点で住みやすいと思う市民の割合は7.0%となっています。	青森市が継続的に働ける場が確保されている点で住みやすいと思う市民の割合 単位：%	7.3	6.9	7.4	7.6	7.0

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

本市への移住希望者に対する就職支援や企業の立地促進活動の実施等を通じて雇用環境づくりの促進等に取り組んだ結果、施策指標①の若者等の地元就職に関する相談件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏で実施したイベント等での相談数が想定よりも少なかったことから、目標値を下回ったものの、施策指標②の立地企業数は目標値を上回る4件（平成29年度からの累計は20件）となっており、いずれの事業も施策の方向性である雇用対策の推進に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
施策評価の結果及びコロナ禍におけるリモートワーク等の普及に伴う地方移住への関心の高まりを踏まえ、高校生や大学生等に向けた地元就職を促進する取組に加え、新しい働き方に対応したリモートワーク人材を含む若者等の地元就職や、情報サービス業等地域ニーズに対応した企業のサテライトオフィスの立地を始めとした企業誘致をこれまで以上に促進するとともに、地元企業や立地環境の情報発信の強化・企業の人材確保の支援等により、雇用対策の推進に引き続き取り組む必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
労働力の確保に向け、若者等の地元就職を促進するとともに、仕事と家庭の両立など、誰もが安心して働くことのできる雇用環境づくりを促進します。また、地域ニーズに対応した多様な企業の立地等を支援・促進します。



## 【行政分野】

### 観光

【前期基本計画における施策数】 3

- 1-3-1 広域観光の推進
- 1-3-2 観光資源の充実
- 1-3-3 受入態勢の強化

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局
政策	第3節	観光の振興・誘客の推進	
施策	第1項	広域観光の推進	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

交流人口の拡大に向けて、広域的な連携による戦略的なプロモーションを展開します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
観光入込客数（延べ人数）	本市を訪れた観光客数	+	H29 6,040 千人	目標値 実績値	6,094 6,020	6,121 3,672	6,148 3,643	6,175 4,633	6,202
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数（延べ人数）は4,633千人となり、目標値を下回りました。	達成度評価	B						

指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
主要宿泊施設宿泊者数（延べ人数）◎	市内の主要宿泊施設における宿泊者数	+	H30 1,115,350 人泊	目標値 実績値	1,118,924 1,153,178	1,122,498 682,816	1,126,072 739,294	1,129,646 986,555	1,133,220
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、主要宿泊施設宿泊者数（延べ人数）は986,555人泊となり、目標値を下回りました。	達成度評価	B						

指標③	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値					
分析		達成度評価							

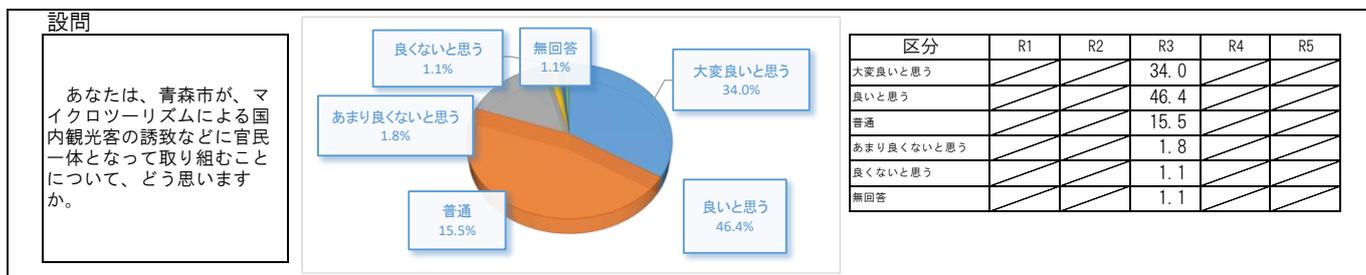
指標④	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値					
分析		達成度評価							

### 4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、広域的な連携や戦略的なプロモーションにより、観光モデルコースの造成や陸奥湾沿岸を周遊するサイクリングコースの設定などスポーツや自然などを活用し、観光客の周遊・滞在の促進に取り組むことについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	41.3	36.4			
良いと思う	40.7	44.9			
普通	14.0	13.5			
あまり良くないと思う	2.4	2.9			
良くないと思う	0.9	0.6			
無回答	0.8	1.7			



**5 主要な事業の成果（令和4年度）**

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
青森市観光振興対策事業	10,585	青森市、青森商工会議所、青森観光コンベンション協会及び関係団体で構成される「青森市観光振興会議」における観光プロモーションや受入環境の整備を通じて広域観光の推進に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値6,175に対して4,633千人となり、目標値を下回りました。	観光入込客数(延べ人数) 単位 千人	6,190	6,020	3,672	3,643	4,633
広域観光推進事業	10,240	広域観光の推進や、むつ湾航路を活用した津軽半島及び下北半島の周遊観光の推進に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が減少したことから、目標値6,175千人に対して4,633千人となり、目標値を下回りました。	観光入込客数(延べ人数) 単位 千人	6,190	6,020	3,672	3,643	4,633
外国人観光客誘客促進事業	2,186	本市への誘客プロモーションなどに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が減少したことから、目標値135,489人泊に対して11,913人泊となり、目標値を下回りました。	青森市内主要宿泊施設(32施設)の外国人宿泊者数 単位 人泊	86,833	102,816	25,459	1,947	11,913
青森港国際化推進事業	1,861	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値30回に対して6回となり、目標値を下回りました。	クルーズ船寄港数 単位 回	26	27	0	1	6
青森空港振興・国際化事業	7,400	国内線を利用した旅行商品造成支援や就航地域における広告掲載等に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光需要が減少したことから、目標値1,300,000人に対して981,174人となり、目標値を下回りました。	青森空港の旅客数 単位 人	1,210,342	1,195,470	334,387	498,430	981,174
MICE誘致・開催支援事業	388	県外からのMICEの誘致に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値7件に対して2件となり、目標値を下回りました。	MICE補助金支援団体数 単位 件	9	5	0	1	2
青森ねぶた派遣事業	12,453	本市の観光資源の中で最も有効なツールである青森ねぶたを最大限に活用した観光PRを通じて効果的な観光プロモーションに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値6,175千人に対して4,633千人となり、目標値を下回りました。	観光入込客数(延べ人数) 単位 千人	6,190	6,020	3,672	3,643	4,633

**6 施策の総合評価（主たる担当部局）**

新たな観光コンテンツを造成し、観光客の周遊や長期滞在の促進に取り組んだ結果、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数(延べ人数)は4,633千人、主要宿泊施設宿泊者数(延べ人数)は986,555人泊と概ね順調に推移しており、広域観光の推進に寄与しています。

**7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）**

(課題)  
国内旅行やインバウンド需要の回復により、主要宿泊施設宿泊者数(延べ人数)が概ね順調に推移していることを踏まえ、連携による戦略的なプロモーションにより、広域観光の推進に引き続き取り組む必要があります。

(目指すべき方向性)  
交流人口の拡大に向けて、持続可能な観光コンテンツを造成するとともに、本市の魅力を国内外に発信することにより、広域的な連携による戦略的なプロモーションを強化します。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 -
政策	第3節	観光の振興・誘客の推進	
施策	第2項	観光資源の充実	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

自然、歴史、文化芸術、食などの地域特性を活かし、四季を通じた魅力づくりを進め、世界から選ばれる観光地としてのブランド力の向上を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
冬季観光入込客数（延べ人数）	冬季（1-3月、11、12月）に本市を訪れた観光客数	+	H29 1,733 千人	目標値 実績値		1,783 1,843	1,808 1,816	1,833 1,371	1,858 1,190	1,883
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、冬季観光入込客数（延べ人数）は1,190千人となり、目標値を下回りました。		達成度評価	C						

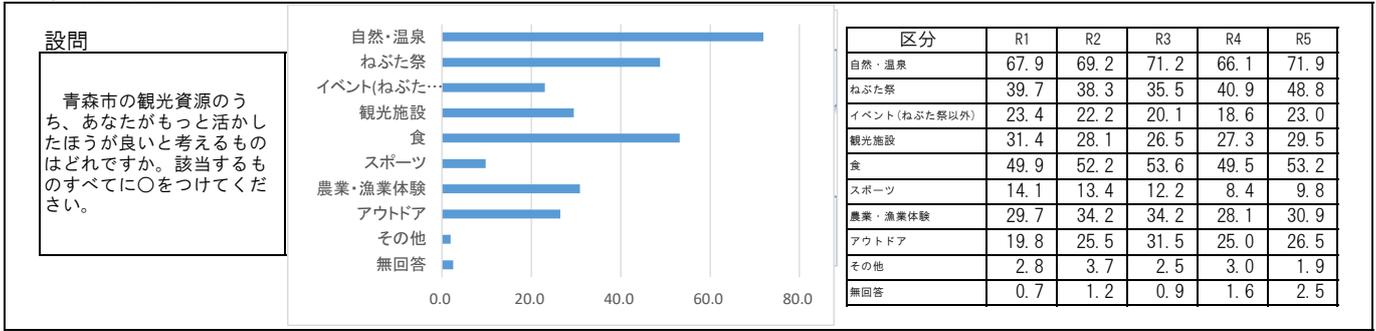
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値 実績値						
分析			達成度評価							

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
青森市観光振興対策事業	10,585	青森市、青森商工会議所、青森観光コンベンション協会及び関係団体で構成される「青森市観光振興会議」における観光プロモーションや受入環境の整備を通じて広域観光の推進に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により観光入込客数は4,633千人となり、目標値の6,175千人を下回りました。	観光入込客数(延べ人数) 単位 千人	6,190	6,020	3,672	3,643	4,633
冬季観光イベント開催事業	5,676	「あもり灯りと紙のページェント」をはじめとする各種イベントを通じて冬季の観光振興に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、冬季に本市を訪れた観光客数は1,190千人となり、目標値の1,858千人を下回りました。	冬季観光入込客数 単位 千人	1,843	1,816	1,542	1,371	1,190
自然公園観光地施設管理事業	11,706	自然公園等の観光地の利便性・快適性の向上及び本市の自然環境保全につながる適正な利用を図るため、浄化槽清掃及び保守点検、公衆便所清掃及び維持管理、園地保全、給水施設の維持管理、看板補修等を行いました。	刈払地 単位 箇所	7	7	7	7	7
文化観光交流施設運営管理事業	14,237	「ねぶたの家 ワ・ラッセ」における大型ねぶたの展示や各種のイベントを通じて、ここでしか体験できない観光メニューの充実に取り組んだ結果、来館者数は359,798人となり、前年度の189,433人に対し170,365人の増加となりました。	来館者数 単位 人	470,328	490,182	181,693	189,433	359,798
			単位					
			単位					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

広域観光の推進や観光施設等の充実等に取り組んだものの、観光入込数は目標値6,175千人に対し4,633千人となり、1,542千人の減となりました。また、冬季観光イベントの開催等を通じて観光地としてのブランド力の向上に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、冬季観光入込客数は目標値1,858千人に対し1,190千人となり、668千人の減となりました。

また、市民意識調査の結果、「自然・温泉（71.9%）」「食（53.2%）」を観光資源としてもっと活用すべきという回答が多くなっています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
ポストコロナに向け、観光客数が回復傾向にあることを踏まえ、本市の代表的な観光資源であるねぶた祭や浅虫温泉などを活かした魅力づくりに向け取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
自然、歴史、文化芸術、食などの地域特性を活かし、四季を通じた魅力づくりを引き続き進めるとともに、浅虫の地域資源を活用した取組などの強化を図ります。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 総務部・都市整備部
政策	第3節	観光の振興・誘客の推進	
施策	第3項	受入態勢の強化	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

国内外からの観光客が快適に周遊・滞在できるようにホスピタリティの向上など受入態勢の強化を推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
外国人観光客滞在者数（延べ人数）	昼間（10時から18時）に本市に滞在した外国人観光客数	+	H29 125,168 人	目標値		177,251	210,929	210,929	210,929	210,929
				実績値	176,237	196,274	50,800	5,361	未確定	
分析	実績値は未確定ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客滞在者数（延べ人数）は、目標値を下回ることが見込まれます。		達成度評価	未確定		<p>外国人観光客滞在者数</p> <p>500,000 0</p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>				

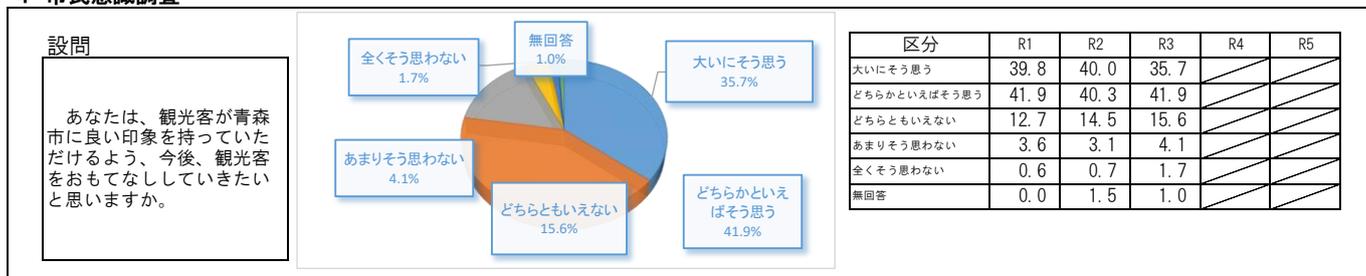
指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
主要宿泊施設外国人宿泊者数（延べ人数）◎	市内の主要宿泊施設における外国人宿泊者数	+	H30 86,833 人泊	目標値		98,997	111,161	123,325	135,489	147,653
				実績値	86,833	102,816	25,459	1,947	11,913	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、主要宿泊施設外国人宿泊者数（延べ人数）は11,913人泊となり、目標値を下回りました。		達成度評価	D		<p>主要宿泊施設外国人宿泊者数</p> <p>200,000 0</p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>				

指標③	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析			達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析			達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析			達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化起業者人制度活用事業	5,600	国の「地域活性化企業人制度」を活用し、日本航空株式会社から社員を1名受け入れたことで、当該社員による民間企業のノウハウを活かした助言・指導、観光コンテンツのブラッシュアップなどにより、新たな宿泊プランを造成することができ、観光誘客の促進に寄与しました。	民間企業からの受入れ人数 単位 人	-	-	-	-	1
公共交通円滑化促進事業	8,016	年間の利用者数は、国による全国旅行支援等による旅行需要の回復が図られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値74,400人に対して56,403人となり、目標値を下回りました	青森市シャトル・ルートバス利用者数 単位 人	71,624	74,169	20,369	21,295	56,403
観光情報コンテンツ管理運営事業	4,106	フリーWi-Fiの管理を通じて青森市を訪問する観光客の利便性向上に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少していることから、青森市フリーWi-Fi利用回数は163,647回となりました。	青森市フリーWi-Fi利用回数 単位 回	206,006	181,537	152,444	175,701	163,647
観光ガイド育成・運営事業	6,489	まちなか散策ガイドの育成や散策マップの作成・配布を通じて観光客のニーズに応じた受入環境の充実に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が減少したことから、目標値954人に対して438人となり、目標値を下回りました。	あおもり街てく利用者数 単位 人	954	933	131	539	438
青森港国際クルーズターミナル整備事業	3,079	港湾施設のPR等に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値30回に対して6回となり、目標値を下回りました。	クルーズ客船寄港回数 単位 回	26	27	0	1	6

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

フリーWi-Fiの管理・運営や観光ガイドの育成・運営など受入環境の充実に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要宿泊施設外国人宿泊者数（延べ人数）は11,913人泊となり、目標値を下回りました。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
 主要宿泊施設外国人宿泊者数（延べ人数）は目標値を下回っているものの、今後のインバウンドの本格的な回復を踏まえ、多様なコンテンツの造成、フリーWi-Fiの管理・運営や観光ガイドの育成・運営などにより、受入態勢の強化に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
 国内外からの観光客が快適に周遊・滞在できるように利便性向上を進めながら、ホスピタリティの向上を図り、受入態勢の強化を推進していきます。



## 【行政分野】

### 農林水産

【前期基本計画における施策数】 3

- 1-2-1 あおもり産品の販売力の強化
- 1-2-2 農林水産業の経営体質の強化
- 1-2-3 農林水産業の生産・流通基盤の維持・強化

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 農林水産部 関連部局 経済部
政策	第2節	農林水産業の振興	
施策	第1項	あおり製品の販売力の強化	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

豊かな自然に育まれた安全・安心な市産農林水産品の域内外への販路拡大に向けて、地域ブランド化や高付加価値化に積極的に取り組むとともに、販売力を強化します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
商談件数	商談会出展を支援した団体の商談件数	+	H30 31 件	目標値		34	37	40	43	46
				実績値	31	78	1	58	266	
分析	商談件数は266件となり、目標値を大幅に上回りました。			達成度評価	A					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

**設問**

青森市の農林水産物のうち、あなたがもっとPRしたほうが良いと考えるものはどれですか。該当するものすべて選び○をつけてください。

品名	割合 (%)
米	52.1
トマト(ミニトマト含む)	20.0
パサラコーン	11.1
りんご	48.3
あおもりカシス	35.1
さくらんぼ	15.3
八甲田牛	43.7
ホタテ	57.9
ナマコ	20.5
その他	5.2
無回答	3.6

区分	R1	R2	R3	R4	R5
米	39.2	41.1	45.0	40.4	52.1
トマト(ミニトマト含む)	17.9	16.0	17.9	20.4	20.0
パサラコーン	11.5	13.5	12.4	11.5	11.1
りんご	38.0	38.8	39.4	38.1	48.3
あおもりカシス	35.0	38.5	38.1	33.5	35.1
さくらんぼ	10.5	20.0	15.3	13.7	15.3
八甲田牛	40.7	41.5	40.9	37.2	43.7
ホタテ	48.1	51.2	53.5	50.3	57.9
ナマコ	18.8	18.7	21.0	18.4	20.5
その他	4.7	6.5	5.5	5.5	5.2
無回答	1.0	1.8	1.3	3.1	3.6

**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
あおもり産品販売促進事業	13,636	市では、関係団体と組織するあおもり産品販売促進協議会と連携しながら、生産者や生産者団体などが大消費地である首都圏で開催される商談会などに参加する際の出展経費を一部支援するなど、販路拡大に向けた機会の拡充を図っています。R4年度はコロナ禍からの社会経済活動の再開により対面式展示商談会の開催が増えたことなどにより商談件数は目標値を大幅に上回ることができました。	商談件数	31	78	1	58	266
特産品開発支援事業	1,535	「生産者6次産業化支援事業」及び「ふるさと納税進呈品導入支援事業」については、事業者等への継続的な情報提供を行うとともに、生産者等と加工・販売事業者等をマッチングすることで、令和4年度の支援実績件数は7件となりました。	特産品開発支援数	1	2	1	5	7
ナマコの食ブランド化推進事業（連携）	457	あおもりナマコブランド化協議会会員の協力のもと、あおもりナマコを用いた試作メニューを開発しました。	新規ナマコ商品開発数（試作品及び新メニュー開発含む）	1	1	0	1	1
首都圏ビジネス交流拠点運営事業（連携）	48,572	52週プロジェクトや外販イベントを可能な限り実施した結果、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向もあり、過去最高の売上を記録したものの、依然として同感染症の影響により、売上額は目標値40,987千円に対して35,842千円となり、目標値を下回りました。	売上額	27,444	28,731	20,030	18,480	35,842

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

「特産品開発支援事業」や「あおもり産品販売促進事業」では、市農林水産を活用した特産品の開発・改良や販路開拓・販路拡大に関する各種事業や支援等を通じて農林水産品の高付加価値に取り組んだ結果、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりそれぞれの事業で掲げた目標値には達しなかったものの、社会経済活動の再開により令和3年度以降の「商談件数」は目標値を上回ることができました。また、「首都圏ビジネス交流拠点運営事業」においては、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向もあり、過去最高の売上を記録したものの、依然として同感染症の影響により、売上額は目標値を下回りましたが、首都圏の拠点としての役割を果たしています。いずれの事業も施策の方向性であるあおもり産品の販売力の強化に寄与しています。

市民意識調査においては、あおもり産品として代表される「ホタテ」「米」「八甲田牛」「りんご」「あおもりカシス」などについて、より一層の情報発信が求められていること、また、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢など社会・国際情勢の影響により安定供給に支障が生じたことを背景に、日本国内においては、国産に対する需要が増えていることを踏まえ、引き続き、市農林水産品に係る情報発信の強化に取り組む必要があります。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）  
 コロナ禍を脱し、社会経済活動が正常化していくなかで施策評価の結果を踏まえ、認知度の向上を図る情報発信や効果的なトップセールスの展開を行うなど地域ブランドの確立や高付加価値化に計画的かつ戦略的に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）  
 引き続き、市産農林水産品の域内外への販路拡大に向けて、地域ブランド化や高付加価値化、販売力の強化に積極的に取り組みます。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局 農林水産部 関連部局 -
政策	第2節	農林水産業の振興	
施策	第2項	農林水産業の経営体質の強化	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

農林水産業の担い手の育成・確保を進めるとともに、農地の利用集積や新技術の導入、経営の多角化などによる経営体質の強化を図ります。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
認定新規就農者数◎	農業経営基盤強化促進法に基づき、新たに農業経営に取り組みするために作成する『青年等就農計画』を市に提出して認定を受けた者（各年度）	+	H30 10	経営体	目標値	8	8	8	8	8
					実績値	13	6	9	8	6
分析	認定新規就農者は6経営体となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
担い手への農地集積率	本市の耕地面積に占める担い手への農地利用集積面積（自己所有、借入地、特定農作業受託の合計面積）の割合	+	H29 42.3 %		目標値	45.5	47.1	48.7	50.3	51.9
					実績値	47.0	48.6	49.9	50.3	50.6
分析	担い手への農地集積率は50.6%となり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
地域振興作物（高収益作物）の作付面積	市内における地域振興作物（高収益作物：『青森市地域農業再生協議会水田収益力強化プロジェクト』において設定している品目）の作付面積	+	H30 36.5 ha		目標値	38.3	40.1	41.9	43.7	45.5
					実績値	36.5	34.5	39.5	39.4	37.3
分析	地域振興作物（高収益作物）の作付面積は37.3haとなり、目標値を下回りました。		達成度評価	B						

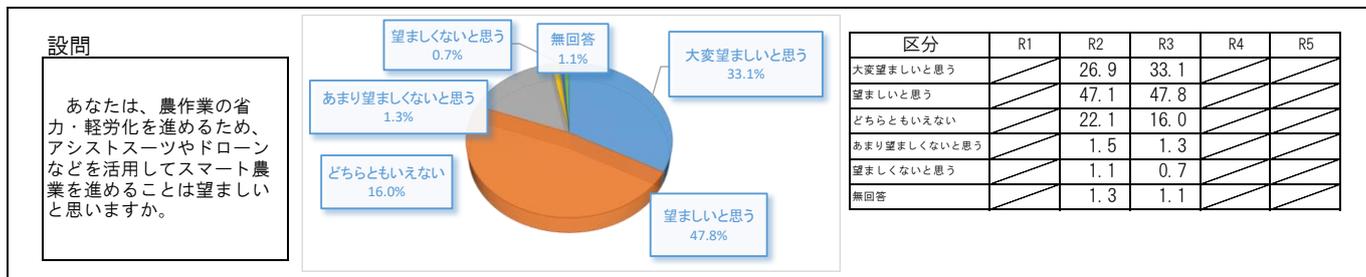
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
漁業生産量◎	市内の漁業生産量の合計	+	H29 11,371 t		目標値	14,201	14,205	14,209	14,214	14,219
					実績値	15,507	20,458	14,542	15,540	15,231
分析	漁業生産量は15,231 tとなり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

### 4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、農林水産業の担い手の育成・確保を進めることや、スマート農業の普及に取り組んでいることについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	29.7				
良いと思う	48.9				
普通	17.3				
あまり良くないと思う	2.1				
良くないと思う	0.9				
無回答	1.2				



**5 主要な事業の成果（令和4年度）**

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
スマート農業普及対策事業（連携）	9,569	令和4年度は、青森スマート農業プラットフォームを設立するとともに、その参加者の協力得ながら青森スマート農業フェアを開催し、同時開催で行った成果報告会において、前年度スマート農業チャレンジ事業でスマート農業機器を導入した農家による事例発表が行われました。	講習会等の開催 単位：回	-	-	0	0	1
八甲田牛ブランド化推進事業	5,677	生産農家で構成する八甲田牛生産者協会を新たに立ち上げ、市営共同牧野への牛放牧に係る経費支援や市内外の飲食店へのプロモーションなど、生産から販売対策を一体的に推進することにより、八甲田牛の年間出荷頭数が増加しました。	八甲田牛年間出荷頭数 単位：頭	25	22	30	22	30
あおり農業所得向上対策事業	11	令和4年度においては、事業の活用を要望していた農業者が、県の事業採択を受け要望を取り下げたため、実績は無しとなりました。	パイプハウス整備面積 単位：a	9	4	10	14	0
水田農業高度化推進事業	3,758	水稲作付においてスマート農業を活用した航空防除を実施することにより、防除体制の強化を図り生産性の安定向上と労働力軽減が図られました。	スマート農業を活用した航空防除面積 単位：ha	-	1,788	1,778	1,684	1,591
農業移住・新規就農サポート事業（連携）	9,832	令和4年度は、新たに3名（うち青森市2名）のかたに農業次世代人材投資資金が交付されました。また、就農初期段階のかたの巡回指導によるサポートにより、新規就農者の定着・確保が図られています。	農業次世代人材投資資金（経営開始型）の新規交付対象者数（累計） 単位：人	-	-	10	16	18
新規就農総合支援事業	49,076	国の農業次世代人材投資事業（経営開始型）を6人のかたが新たに活用しました。	新たに農業次世代人材投資事業（経営開始型）を活用した新規就農者数 単位：人	6	14	10	6	2
地域おこし協力隊活動支援事業（就農隊員）	4,055	令和4年度の就農隊員を募集したところ、2名から応募がありましたが、いずれも申請者の都合による辞退となり、任用には至りませんでした。	就農隊員の人数 単位：人	-	-	-	1	1
農作物鳥獣被害対策事業	3,455	農作物被害件数が増加傾向にあるため、鳥獣被害対策の実践的活動を担う「青森市鳥獣被害対策実施隊」を設置し、実施隊によるパトロール活動や追払い活動、生息・被害調査等を実施しました。	鳥獣による農作物被害件数 単位：件	-	9	18	19	29
森林経営管理事業	7,153	経営管理意向調査対象森林の抽出を行うとともに、青森地区、浪岡地区で各1地区意向調査を実施しました。	森林経営管理に係る意向調査地区数 単位：地区	0	0	2	2	2
転作推進事業	2,618	転作田において7営農集団による集団転作や担い手による奨励作物（トマト・ねぎ・ピーマン・そば・小麦・バサラコーン・きゅうり・たまねぎ）の作付けが継続して行われました。	市の奨励作物作付面積 単位：ha	199	247	205	219	229
農地利用集積事業	0	農地中間管理機構に農地を貸し付けたかたや地域に協力を金交付することにより、担い手への農地集積が図られています。	本市の耕地面積に占める担い手への農地利用集積面積 単位：%	47	49	50	50	51
つくり育てる漁業推進事業	3,067	資源管理のもとで、令和4年のナマコ漁獲量は前年に比べ減少しましたが、ナマコ種苗については安定的な供給を行っています。	ナマコ漁獲量 単位：kg	77,935	78,331	76,792	62,197	49,742

**6 施策の総合評価（主たる担当部局）**

主要な事業に取り組んだ結果、「担い手への農地集積率」、「漁業生産量」はいずれも目標値以上となりました。また、「認定新規就農者数」、「地域振興作物の作付面積」については、目標値をわずかに下回ったものの、作付面積は基準値を超えています。

市民意識調査については、農林水産業の担い手の育成・確保を進めることやスマート農業の普及について「大変良いと思う」「良いと思う」と回答した割合は、78.6%となっており、スマート農業を進めることについては「大変望ましいと思う」「望ましいと思う」と回答した割合は、2か年平均でおよそ77.5%となっています。

**7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）**

**（課題）**  
 農業者人口が減少している中、高齢化が進むとともに、新規就農者も横ばい状態であり、耕作面積の減少が懸念され、農業経営が弱体化する恐れがあります。

**（目指すべき方向性）**  
 施策の評価結果や市民意識調査の結果を踏まえ、スマート農業等の更なる普及による生産性の向上や農作業の省力・軽労化に向けた取組を実施するとともに、新たな担い手の確保に向け、市外からの移住就農希望者の支援などを通じて、農林水産業の担い手の育成・確保及び経営体質の強化を図ります。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第1章	しごと創り	主たる担当部局		
政策	第2節	農林水産業の振興	農林水産部		
施策	第3項	農林水産業の生産・流通基盤の維持・強化	関連部局		
			農業委員会事務局		

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

農林業の生産基盤である農地や森林の適正な管理と資源の有効活用を通じて、優良農地の確保や森林などが持つ多面的機能の維持・発揮を図ります。また、水産業の生産基盤である漁港や漁場などの適正な管理を通じて、水産資源の保護を図ります。流通環境の変化に対応するため、市場機能の充実を図り、市場取引の活性化を促進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
ほ場整備の割合	水田面積のうち、ほ場整備を実施済みの面積の割合	+	H29	75.2	%	目標値	79.2	79.2	80.0	80.0	80.0
						実績値	78.1	79.6	79.6	80.1	80.4
分析	ほ場整備の割合は80.4%となり、目標値を上回りました。		達成度評価		A						

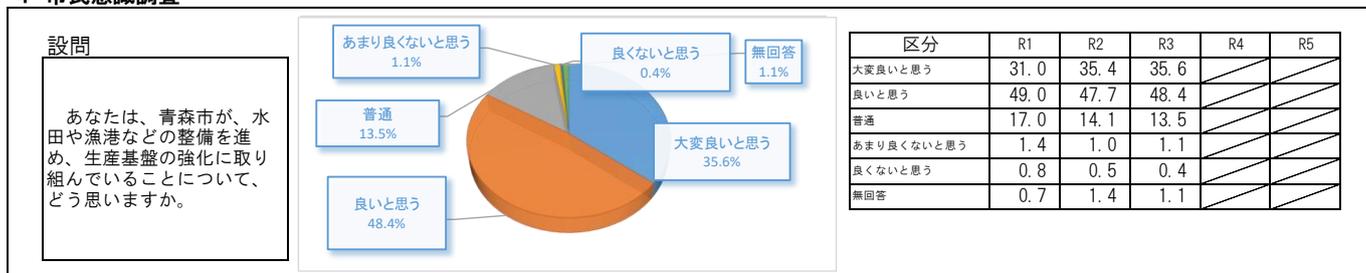
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
森林整備率	市内の人工林面積のうち、森林経営計画に基づく間伐等の森林整備をした割合	+	H29	6.39	%	目標値	8.94	10.22	11.86	13.23	14.51
						実績値	7.22	8.46	9.07	9.96	10.64
分析	森林整備率は10.64%となり、目標値を下回りました。		達成度評価		B						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
漁港整備率	現在整備中または今後整備が予定されている本市管内漁港の整備された割合	+	H30	0	%	目標値	25	50	75	75	75
						実績値	0	0	25	50	50
分析	実施主体である県の漁港漁場整備計画が変更となり、整備時期が延伸されたことにより、漁港整備率は50%となりました。		達成度評価		C						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
卸売市場年間取扱高	卸売市場で取扱う水産物、青果、花きの年間取扱金額	+	H29	38,289	百万円	目標値	38,289	38,289	38,289	38,289	38,289
						実績値	37,855	32,411	31,475	30,638	31,425
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、卸売市場年間取扱金額は31,425百万円となり、目標値を下回りました。		達成度評価		B						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析			達成度評価							

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
ため池整備事業	9,332	浪岡地区にある大堤ため池について、県営事業により整備が進められました。	事業進捗率 単位 %	0.0	10.1	51.4	70.2	96.1
ほ場等整備推進事業	35,842	計画的にほ場整備を進めたことにより、目標値を達成しました。	ほ場整備率 単位 %	78.1	79.6	79.6	80.1	80.4
県営野沢地区畑地帯総合整備事業	44,374	浪岡地区にある野沢地区について、県営事業により、農道の詳細設計業務を実施しました。	事業進捗率 単位 %	0.0	0.0	0.0	4.6	27.1
農業基盤改良事業 (道路・水路・側溝)	27,621	農地・農業用施設の整備については、緊急性、施設の重要度、広域性を考慮し、優先度が高いものから整備・補修を行っており、令和4年度は17件の工事をを行いました。	農業用施設等整備補修件数 単位 件	15	18	19	25	17
森林造林事業	19,706	国・各部分林組合・財産区等と連携し、森林の造林・保育などの森林整備を行った結果、市有林・財産区有林の森林整備面積は26.87haとなりました。	市有林・財産区有林の森林整備面積 単位 ha	16.54	41.13	39.60	40.63	26.87
漁港整備事業	19,557	本市管内4漁港のうち2漁港(飛鳥漁港・久栗坂漁港)の整備が終了したため、実績値は50%となっています。	漁港整備率 単位 %	0	0	25	50	50
市場運営管理事業	286,021	人口減少、市場外流通の増加、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の減少等の影響により令和4年度の取扱数量は前年度と比較して減少したものの、市場取引の活性化の取組や原油・原材料価格の高騰、円安の影響等による卸売価格の上昇によって、年間取扱高は前年度と比較して増加しました。	卸売市場年間取扱高 単位 百万円	37,855	32,411	31,475	30,638	31,425

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

「ほ場整備の割合」については、事業主体の県及び受益農家と連携し計画的に整備を進めています。「漁港整備率」については、県による整備計画の変更により、令和4年度は目標値を下回ったものの、計画的に整備を進めています。「森林整備率」についても、林業従事者の減少等の影響もあり目標値に比べ伸び幅は小さいものの、着実に森林整備を進めています。また、「卸売市場年間取扱高」については、人口減少や市場外流通の増加等の影響により目標値を下回っていることから、今後は、市場取引の活性化を図る必要があります。県事業の進捗による施策もありますが、達成度評価では概ね順調に進んでおり、施策の目標指標の達成に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
ほ場整備が未実施の地区については、耕作放棄が進み農地の有効活用が図られていない状況にあります。森林については、長期的な木材価格の低迷や経営コストの上昇により林業全体の規模が縮小し、森林所有者の経営意欲が減退しています。漁港については、県と連携を図りながら、老朽化対策や機能強化に計画的に取り組む必要があります。また、卸売市場年間取扱高については、人口減少や市場外流通の増加による影響によって、市場取扱高が減少傾向にあることが課題となっています。

**（目指すべき方向性）**  
農林水産業の生産基盤である農地や森林、漁港等の整備や適正な管理を通じて、優良農地の確保や森林が持つ多面的機能の維持・発揮、水産資源の保護を図ります。また、流通環境の変化に対応するため、販売力の強化等の取組により市場機能の充実を図り、市場取引の活性化を促進します。



## 【行政分野】

### その他

【前期基本計画における施策数】 2

3-1-2 広域連携の推進

3-1-3 国際・国内交流の推進

### 1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局	
政策	第1節	地域内連携・広域連携の推進	企画部	
施策	第2項	広域連携の推進	関連部局	
			環境部・経済部	

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

人口減少社会において、地域活力の維持・向上を図るため、生活圈や経済圏が密接に結びつく地域や、共通の資源を持つ近隣地域との広域連携を推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
広域連携の事業数◎	市が近隣市町村等と連携して実施した事業数	+	H30 12 件	目標値		14	16	18	20	22
				実績値	12	18	46	50	52	
分析	広域連携の事業数は52件となり、目標値を上回りました。			達成度評価	A					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

**設問**

あなたは、青森市と東津軽郡の町村が連携中枢都市圏を形成し、移住促進や経済・観光振興などに取り組むことについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う		29.9	27.5	29.3	30.3
良いと思う		44.1	49.5	44.1	45.8
普通		21.2	19.9	20.9	16.5
あまり良くないと思う		2.4	1.5	2.5	2.7
良くないと思う		1.2	0.8	1.0	1.6
無回答		1.2	0.8	2.2	3.1

区分	R1	R2	R3	R4	R5

**設問**

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
連携中枢都市圏推進事務（連携）	341	東津軽郡4町村と連携事業に関する協議を重ねた結果、具体的取組（連携事業）は、初年度（令和2年度）の44事業から令和4年度で52事業となっており、令和5年度は55事業となる見込みです。	連携中枢都市圏ビジョンに記載する取組数 単位：事業数	-	-	44	48	52
むつ湾広域連携事業（連携）	3,940	むつ湾広域連携協議会において、陸奥湾の環境保全、並びに陸奥湾の豊かな資源や美しい自然景観を活かした産業及び観光の振興を図るために10事業を実施しました。	むつ湾沿岸市町村連携事業数 単位：件	-	7	6	4	10

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和2年3月23日に青森圏域連携中枢都市圏ビジョンを策定し、広域的な取組を推進したことで施策の目標指標の達成に寄与しています。市民意識調査では、青森市と東津軽郡の町村が連携中枢都市圏を形成し、移住促進や経済・観光振興などに取り組むことについてどう思うかの問いに、「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が増加傾向にあり、R5年度76.1%となっていることから、引き続き、東津軽郡4町村と連携しながら、今後、圏域全体に求められる経済活動や福祉・教育などの維持や発展に取り組む必要があると考えます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

**（課題）**  
人口減少とともに一層の高齢化の進展に伴い、生産・消費などの経済活動の衰退や、過疎化が進行する地域での福祉・教育など行政サービスの維持が困難となるおそれがあり、地域活力の維持・向上を図る必要があります。

**（目指すべき方向性）**  
人口減少・少子高齢社会においても、圏域全体に求められる経済活動や福祉・教育などの維持や発展に取り組むため、今後も引き続き、東津軽郡4町村をはじめとした近隣地域との広域連携を推進します。

### 1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局			
政策	第1節	地域内連携・広域連携の推進	経済部			
施策	第3項	国際・国内交流の推進	関連部局			
			企画部・農林水産部・浪岡振興部・教育委員会事務局			

### 2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

青函交流をはじめとした国内外の都市や地域との交流を推進します。

### 3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
国際交流事業の参加者数	市が関わっている各種国際交流事業への参加者数	+	H29 1,343 人	目標値		1,204	1,266	1,328	1,390	1,452
				実績値	2,434	2,249	1,097	998	2,445	
分析	国際交流事業の参加者数は2,445人となり、目標値を大幅に上回りました。		達成度評価	A						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
国内交流事業の参加者数	市が関わっている各種国内交流事業への参加者数	+	H29 2,053 人	目標値		2,023	2,033	2,043	2,053	2,063
				実績値	2,109	6,030	166	466	738	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、国内交流事業の参加者数は738人となり、目標値を下回りました。		達成度評価	D						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
本市への移住者数◎	県または市の移住相談窓口等を通じて本市へ移住した人数	+	H29 17 人	目標値		26	30	34	38	42
				実績値	13	27	25	86	124	
分析	県または市の移住相談窓口等を通じて本市へ移住した人数は124人となり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

### 4 市民意識調査

**設問**

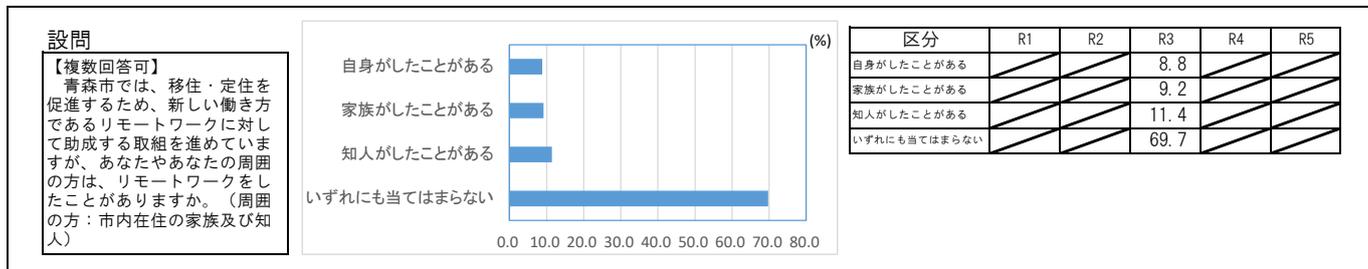
あなたは、青森市が、東京圏から本市へのUターンなどの促進及び担い手不足対策のため、本市へ移住し起業するかたへの支援を行うことについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	35.6				
良いと思う	46.5				
普通	14.8				
あまり良くないと思う	1.7				
良くないと思う	1.0				
無回答	0.5				

**設問**

青函ツインシティの盟約の締結から30年経過し、青森市と函館市はこれまで様々な交流を重ねてきましたが、今後どの分野の交流に力を入れるとよいと思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
教育		4.5			
文化		9.7			
福祉		6.0			
スポーツ		5.7			
観光		47.8			
経済		20.6			
無回答		5.7			



**5 主要な事業の成果 (令和4年度)**

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業 (連携)	13,098	県の移住相談窓口「青森暮らしサポートセンター」や各市町村の窓口を通じた移住者数は126人となり目標の約3倍となりました。	圏域への移住者数 単位 人	16	27	25	91	126
青森市移住促進事業 (連携)	18,947	移住支援金の交付金額を拡充したほか、市独自の新しい働き方移住支援金、リモートワーク活動支援金についても広報・PRに努めた結果、40人に活用いただきました。	移住支援金を活用した移住者数 単位 人	-	0	0	16	40
地域おこし協力隊活動支援事業	16,667	新規にクリエイター人材誘致担当隊員を1名増員し3名の地域おこし協力隊員が活動したほか、新たに移住コーディネーターを1名設置し協力隊員のサポート体制を強化しました。	地域おこし協力隊の人数 単位 人	0	2	2	3	3
地域おこし協力隊活動支援事業 (就農隊員)	4,055	令和4年度就農隊員を募集したところ、2名から応募がありましたが、いずれも申請者の都合による辞退となり、任用には至りませんでした。	就農隊員の人数 単位 人	-	-	-	1	1
浪岡地区バドミントン移住学生支援事業 (補助金)	2,019	県外から移住してきた中高生の保護者に移住支援金を支給しました。	支援金を活用した人数 単位 人	-	-	-	0	10
浪岡地区バドミントン移住学生支援事業 (寮整備)	91,230	バドミントン競技によるまちづくりを推進するため、全国から集まる意欲ある中高生の受入態勢の整備として、学生寮を建設しました。	県外からバドミントン競技を目的に浪岡中学校又は浪岡高校に入学した生徒数 単位 人	-	-	-	0	11
部活動指導員配置事業	757	部活動指導員の配置により、安定した指導がなされ、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚が図られました。県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数は一定の数で推移しており、本事業の実施が県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数の維持に繋がっていると考えます。	県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数 単位 人	-	-	-	25	20
国際交流推進事業	234	国際交流員の派遣のPRや異文化理解講座の実施、新規イベントの開催を通じて、市民が国際交流活動に参加できる環境づくりに取り組んだ結果、市が関わっている各種国際交流事業への参加者数は2,445人となり、目標値を上回りました。	市が関わっている各種国際交流事業への参加者数 単位 人	2,434	2,249	1,097	998	2,445
青函ツインシティ推進事業	233	函館市と青森・函館ツインシティ推進協議会を組織し、青函交流意識の醸成と文化・スポーツ・観光・経済等の分野における交流推進を図った結果、青函交流事業数は昨年度と同じく115事業となっています。	青函交流事業数 単位 事業	109	112	112	115	115
屋久島との交流推進事業	8	令和4年度は、令和2・3年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のためホームステイ交流事業は中止となり、関係機関との次年度開催に向けた調整等を行いました。	屋久島との交流事業への参加者数 (延べ人数) 単位 人	490	4,460	66	44	43
縄文都市交流事業	128	各加盟都市の縄文遺跡を活用した取り組みの把握や情報発信及び情報交換等が図られ、事業の計画や実施において参考となるなどの効果が得られています。	縄文都市連絡協議会の加盟都市数 単位 団体	17	17	17	17	16

**6 施策の総合評価 (主たる担当部局)**

指標①の国際交流事業の参加者数及び、指標③の本市への移住者数は、目標値を上回っており、施策の方向性である国内外の都市や地域との交流推進に寄与しています。指標②の国内交流事業への参加者数は、交流事業に取り組んだものの令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた事業等が中止・縮小となったことから、目標値を下回りました。

**7 課題及び目指すべき方向性 (主たる担当部局)**

(課題)  
新型コロナウイルス感染症による生活様式や働き方の変化などを踏まえ、地方への回帰志向の高まりを好機と捉え、新しい形での移住・定住の促進へ向け引き続き継続して取り組む必要があります。

(目指すべき方向性)  
地域間交流イベントへの参加や開催、国際交流員による異文化理解講座等、交流機会の創出により、国際・国内交流の推進に引き続き取り組むとともに、移住・定住の促進を図ります。

